

Vol.05

高校生の探究現場に密着!

グローバル時代に求められていることについて探究している峻汰くんが、グローバル人材について深堀りすべく、株式会社モザイクワークの杉浦二郎さんを訪ねました。高校生の探究学習に密着します。

グローバルな人ってどんな人?



武田峻汰です!
新潟市立高志中等教育学校
6年生(高校3年生)
バスケット部に入っていて、部活と勉強の両立を頑張っています。

世界で働くには英語は必須ですか?



本質を一緒に考えてみよう!

株式会社モザイクワーク
代表取締役社長
すぎうら じろう
杉浦二郎さん

新潟明訓高等学校卒業後、東洋大学経済学部経済学科に進学。卒業後は三幸製菓にて人事に携わる。その後、ヤフーでの勤務を経て地元新潟で株式会社モザイクワークを立ち上げ、今に至る。

こんな会社です!



株式会社モザイクワーク
〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口 1-1-50 アテンドビル 3F
2016年4月に設立した、新潟と東京に拠点を置く人事コンサルティング企業。企業に対する採用支援だけでなく、学生向けに「新潟就活チャンネル」の運営も行っている。

峻汰くんの探究ストーリーを紹介!

探究テーマ

「グローバル時代に求められること」

背景

高校二年生になり進路を考えるようになったときに、これからの世の中にはどんな人材が求められているのかと疑問に思い、調査したいと考えました。

情報収集整理分析

調べていくうちにグローバル人材という言葉が多く見かけ、やはり英語が重要になるのではないのかと仮説を立てました。しかし、それと同時に機械化やAIといった言葉を目にし、自動通訳などが出てくるかもしれないと感じ、英語は将来本当に必要になるのか疑問に思いました。そこで僕は、英語ができればグローバル人材といえるのか?と考えるようになりました。

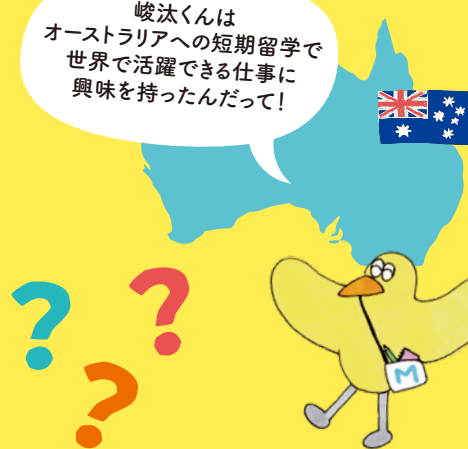
こんなこと知りたいな...

英語ができればグローバル人材なのか?

これからの企業が求める人材像とは?

これからの時代に大切な学びとは?

峻汰くんはオーストラリアへの短期留学で世界で活躍できる仕事に興味を持ったんだって!



Mirais CROSS TALKING

グローバル人材の本質



僕は小中高で海外を訪れたことをきっかけに、グローバルな仕事に興味を持ちました。つまり、グローバル人材にはどんな力が求められるのでしょうか?英語ができればグローバル人材といえるのでしょうか?



高校生のうちに「物事の本質を見る力」を身につけると良いですね。世界中のメディアの中で日本語に翻訳されているのはたったの5%ともいわれるから、グローバル人材にとって英語ができることは良いよね。でも、グローバル人材として本当に大事なのは、会社の成長に貢献することだったり国際社会で活躍できたりすることで、英語ができることが一番大切というわけではないですよ。もっと本質的なことや、そもそも効率よく仕事ができるのか、英語を使ってどんな情報にアクセスできると良いかを考える力があるといいですね。

戦略的学習力と継続的学習力



そうですね。他にはどんな力が大切なんですか?



戦略的学習力です。自分がどうなりたいかを想像して、そのために何が必要かを逆算して学習し続けることです。ただ学習するのではなく、目的意識をもって継続的に学習できる力が今は求められています。昔は会社に入ってから一人前に育ててもらえることが多かったけど、今の企業はすでに能力のある人材を求めている。だから瞬間に移り変わる世の中についていけるよう、戦略的に継続して学習する力を持っている人を採用したいんだ。

進学は社会に出るための手段の一つ



常に学習し続けることがこれから重要なんですね。大学進学もそのために有効ですか?



人は大人になると「社会に出る」という様々な形で社会と関わるんだけど、「大学に行く」というのは社会に出るというゴールのための一つの選択肢でしかないんだよ。大学では、関わる人の種類や価値観の違いが圧倒的に広がったり学びの質が上がったりするという利点はあるよね。でも、将来やりたいことや、自分なりの社会との関わり方がある人は必ずしも大学に行くことが全てではないと思う。昔と比べて、若くして起業するなど、社会に出るための選択肢は進学だけではなく増えてきているように感じるね。

社会の変化に対応する力



なるほど。社会に出るための選択肢も変化してきているんですね。そういった社会の変化に対応するにはどんな力が必要なんですか?



社会の変化に対応するためには、さっきも話したけど、将来どうなるかを常に意識して、継続的学習力と戦略的学習力の2つを身につけることがすごく大事。何も、社会の変化っていうのは機械化やAIの発達だけでなく、常識や流行も変動し続けているよね。だから常に自分の力で考え続けることが求められていると思うよ。



なるほど、常に考え続けることで物事の本質が見えてくるのだとわかりました。そのおかげで、「グローバル人材にとって英語はコミュニケーションの一つのツールでしかなく、本当に必要なことはその人の学びの姿勢や行動力なんだ」と気づきました。



すぐには分からないこともあるし焦る必要もないので、諦めず、自分なりに考えて将来に期待することが大事だね!



これからの時代に必要な考え方や心持ちについてとても参考になりました。僕も今日から「先を見ること」を頑張ります!

お話を終えて



峻汰くんの真剣な想いと考えに触れる事ができ、自分自身を振り返る良いきっかけになりました。ありがとうございました。働くって、きっと楽しい。これから働くみなさんがそんな気持ちになるような世の中にしていきたいです。またお話ししましょう。



これからの時代には、計画性と柔軟な対応力が求められることがわかりました。次なる問いとして、「社会に出るために具体的にどんなことをしたらよいのか?」をテーマに探究を続けていきたいと思えます!

「あこがれの仕事」に出会ってみたい
中高生を募集します!

将来目指している職業があり、実際にその仕事についている社会人と会って話してみたいという中高生を募集しています。希望する中高生の皆さんはみらいずBOOK編集部(みらいずworks)宛てに「氏名・学校名・学年・住所・電話番号・あこがれの仕事・なりたかった理由」を書いてお送りください。

※職業によっては希望に添えないこともあります。応募いただいた内容から選考の上、決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

Mail : info@miraisworks.jp / Tel&FAX : 025-211-8383